



龍安寺
石庭園
六彩塔

龍安寺

006434

大雲山 龍安寺

宝徳2年（1450）管領細川勝元が徳大寺家の別荘を譲り受けて寺地とし妙心寺の義天玄承禅師を開山として創建された禅寺である。山号が大雲山、寺名は龍安寺で臨済宗妙心寺派に属している。創建当時の建物は応仁の乱で焼失したが、明応8年（1499）細川政元が父勝元の遺志を継いで復興に当り、特芳禅傑禅師をむかえて再建された。方丈の前庭にある枯山水の名園、通称「虎の児渡し」の石庭はこの頃に出来たものであると伝えられている。